

2024 年度

授業概要

科目名	身体障害評価学実習Ⅲ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
各疾患のメカニズムや疾患ごとの評価方法を講義や実技を通じて習得する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
各領域および各種疾患特有の評価に必要な知識・技術を習得する。疾患のメカニズムを理解すると共に、実技等を通じて各検査、測定の基本の実施方法、手順の理論的根拠を学び、的確に行えるよう技術を身につける。また、疾患ごとの評価の視点を学習し、適切な評価項目を選択、実施できるよう技術を身につける。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
1.各疾患における評価の意義、目的を理解し、説明できるようになる。							
2.疾患の特徴を踏まえ、評価を適切に実施できるようになる。							
3.評価結果を正確に記録できるようになる。							
回数	講義内容						
1	整形疾患における作業療法評価						
2	整形疾患における作業療法評価						
3	整形疾患における作業療法評価						
4	脊髄損傷における作業療法評価						
5	脊髄損傷における作業療法評価						
6	脊髄損傷における作業療法評価						
7	末梢神経損傷における作業療法評価						
8	末梢神経損傷における作業療法評価						
9	関節リウマチにおける作業療法評価						
10	関節リウマチにおける作業療法評価						
11	関節リウマチにおける作業療法評価						
12	神経・筋疾患について（総論）						
13	ギランバレー症候群における作業療法評価						
14	ギランバレー症候群における作業療法評価						
15	多発性硬化症における作業療法評価						
16	パーキンソン病における作業療法評価						
17	パーキンソン病における作業療法評価						
18	脊髄小脳変性症における作業療法評価						
19	脊髄小脳変性症における作業療法評価						
20	筋萎縮性側索硬化症における作業療法評価						
21	筋萎縮性側索硬化症における作業療法評価						
22	重症筋無力症における作業療法評価						
23	まとめ						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法評価学 第3版	矢谷 令子	医学書院
ベッドサイドの神経の診かた	田崎 義昭 他	南山堂

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験：80点 平常点（小テスト）：20点
